
Technologies For Digital Risk

2020年2月期
決算説明資料

1. 2020年2月期 決算概要

2. 2021年2月期 通期業績予想

3. 補足：エルテスについて



連結 売上高

- ・ 増収（前年比 18%増）
- ・ デジタルリスク事業：契約数・顧客数が順調に増加
（株）エフエーアイを子会社化
- ・ その他事業：新サービス開始による売上増

連結 営業利益 経常利益

- ・ 増益（ 営業利益前年比 +378%増
経常利益前年比 +431%増 ）
- ・ 子会社エルテスセキュリティインテリジェンスの黒字転換によって利益改善

連結 最終利益

- ・ 増益（前年同期比+149百万円）
特別損失（投資有価証券評価損）26百万円
（前期は60百万円の特別損失発生）
法人税等の増加 26百万円

- 全ての項目において、前連結会計年度より、増収増益
- 経常利益までは業績予想を超過したものの、投資有価証券評価損の発生及び税負担の増加から当期純利益は未達

単位：百万円

	2019年2月期 連結実績	2020年2月期 連結実績	増減率		2020年2月期 通期連結 業績予想	達成率
売上高	1,656	1,963	18.6%		1,800	109.1%
営業利益	38	186	378.7%		150	124.4%
経常利益	32	174	431.5%		140	124.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲63	86	—		90	95.9%

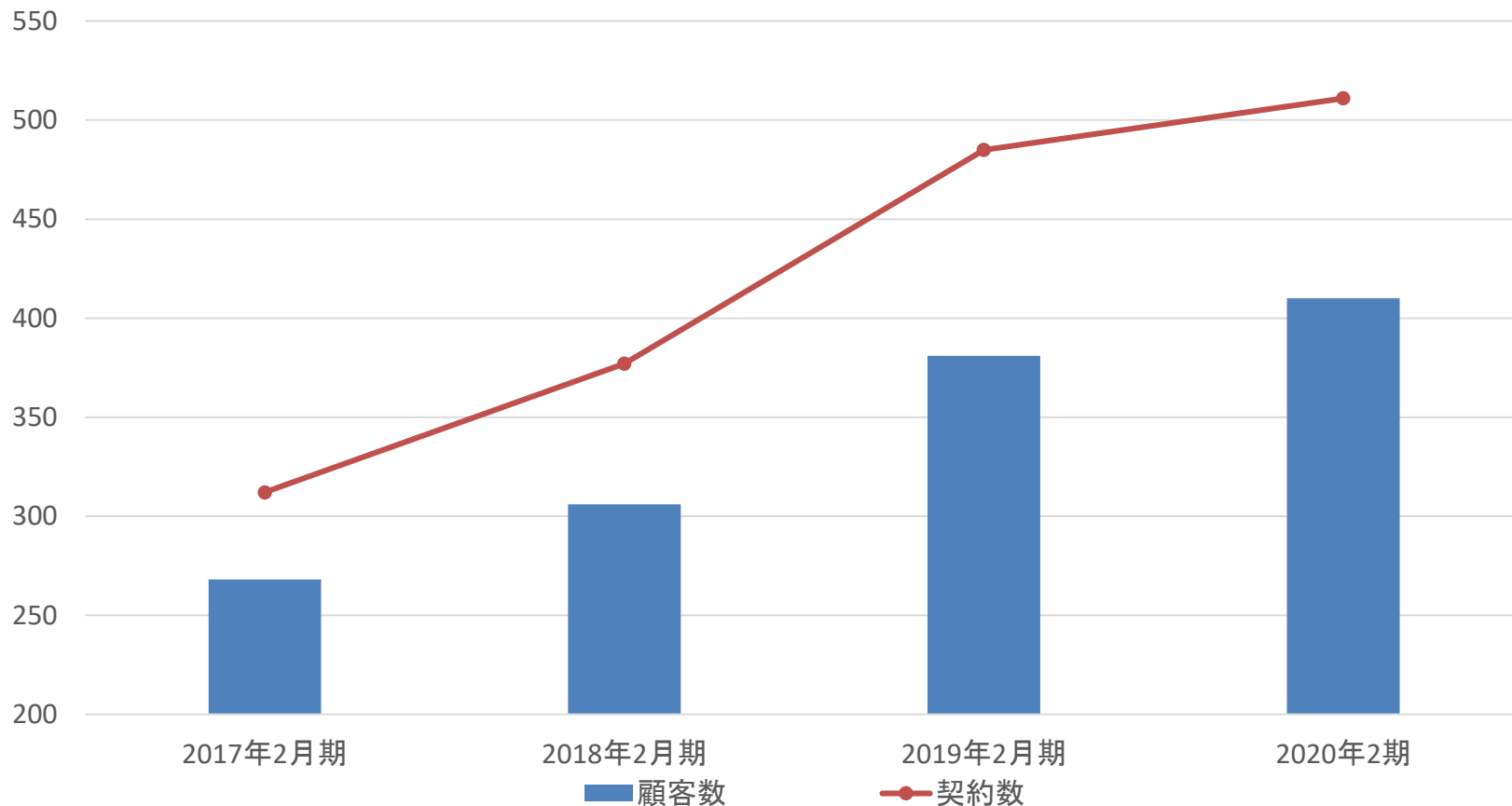
- デジタルリスク事業は堅調に推移
- その他事業(AIセキュリティ事業等)の売上は増加したが、新事業開発のための営業費用の増加などにより、セグメント利益の改善は微増

単位：百万円

		2019年2月期 連結実績	2020年2月期 連結実績	増減
デジタルリスク事業	売上高	1,645	1,866	220
	営業利益	610	650	40
その他	売上高	17	102	84
	営業利益	▲47	▲44	2
全社・調整額	売上高	▲6	▲4	2
	営業利益	▲523	▲418	105
連結	売上高	1,656	1,963	307
	営業利益	38	186	147

➤ 顧客基盤は引き続き堅調に拡大中

単位：件

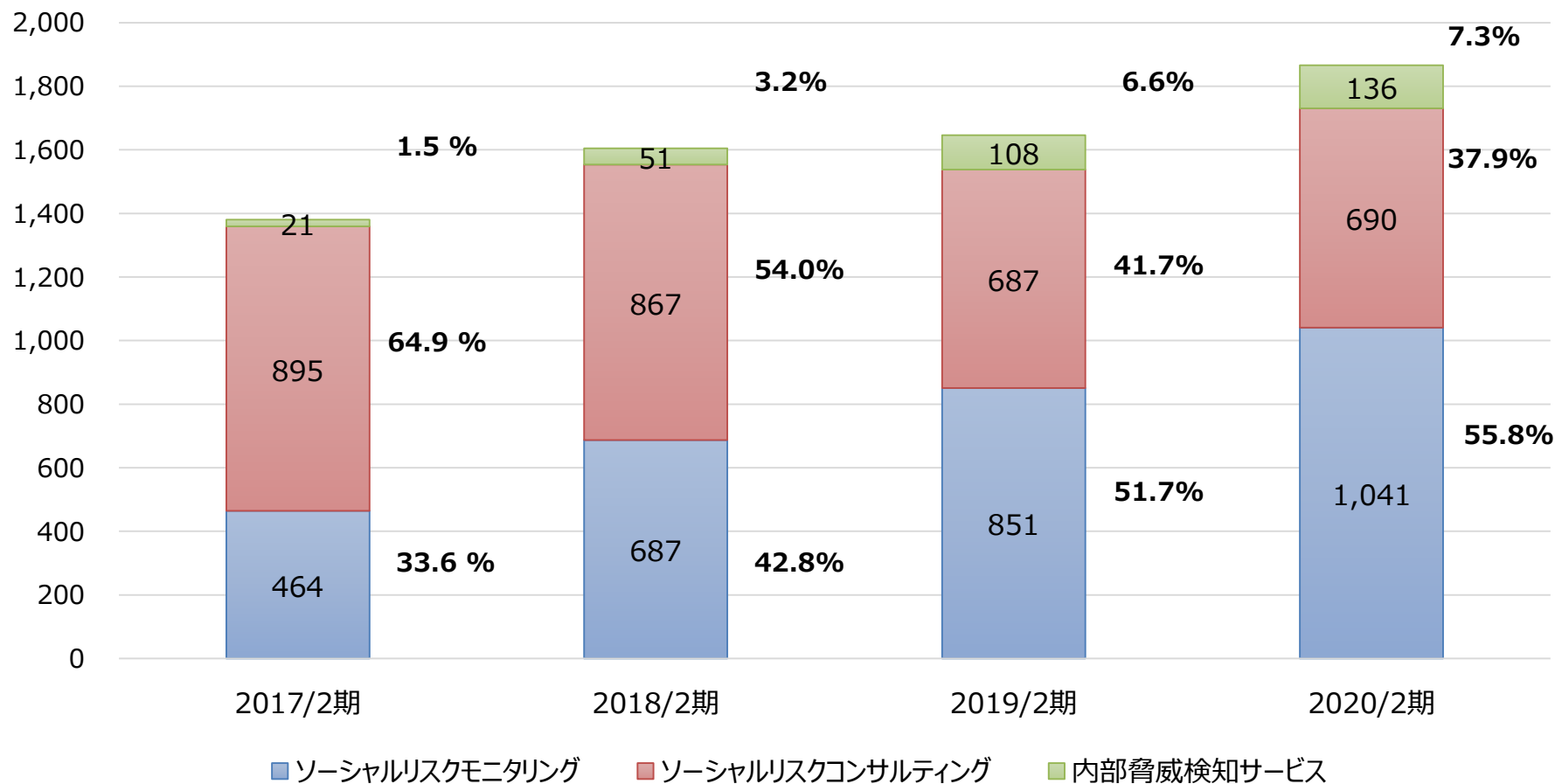


年間契約による月額課金のストック型ビジネスモデル

➤ 継続率の高いソーシャルリスクモニタリングサービスへ順調に移行

デジタルリスク事業 サービス別売上高推移

単位：百万円



AI セキュリティ 事業

- ・子会社エルテスセキュリティインテリジェンス 黒字化
(前年同四半期：営業赤字△48百万円
→当四半期：営業黒字+20百万円)
- ・新規サービスの企画・開発を進める一方、
一部サービスを収益化

その他 新規事業

- ・デジタルガバメント事業：情報共有技術「UXP」を活用する
実証実験に参加

➤ **流動資産**

現預金 1,323百万円、売上債権 212百万円

➤ **固定資産**

投資有価証券 235百万円

単位：百万円

	2019年2月期 連結実績	2020年2月期 連結実績	増減
流動資産	1,403	1,578	175
固定資産	427	483	56
負債	221	359	137
純資産	1,609	1,703	93
総資産	1,831	2,063	231

- **営業キャッシュ・フロー**
税引前利益増加、減価償却費の減少
- **投資キャッシュ・フロー**
投資有価証券の取得減少
- **財務キャッシュ・フロー**
新株予約権の行使による株式の発行による収入減少

	2019年2月期 連結実績	2020年2月期 連結実績	単位：百万円 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	143	217	73
投資活動による キャッシュ・フロー	▲219	▲91	128
財務活動による キャッシュ・フロー	44	▲0	▲44
現金及び現金同等 物の期末残高	1,197	1,323	126

1. 2020年2月期 第3四半期決算概要
- 2. 2020年2月期 通期業績予想**
3. 補足：エルテスについて



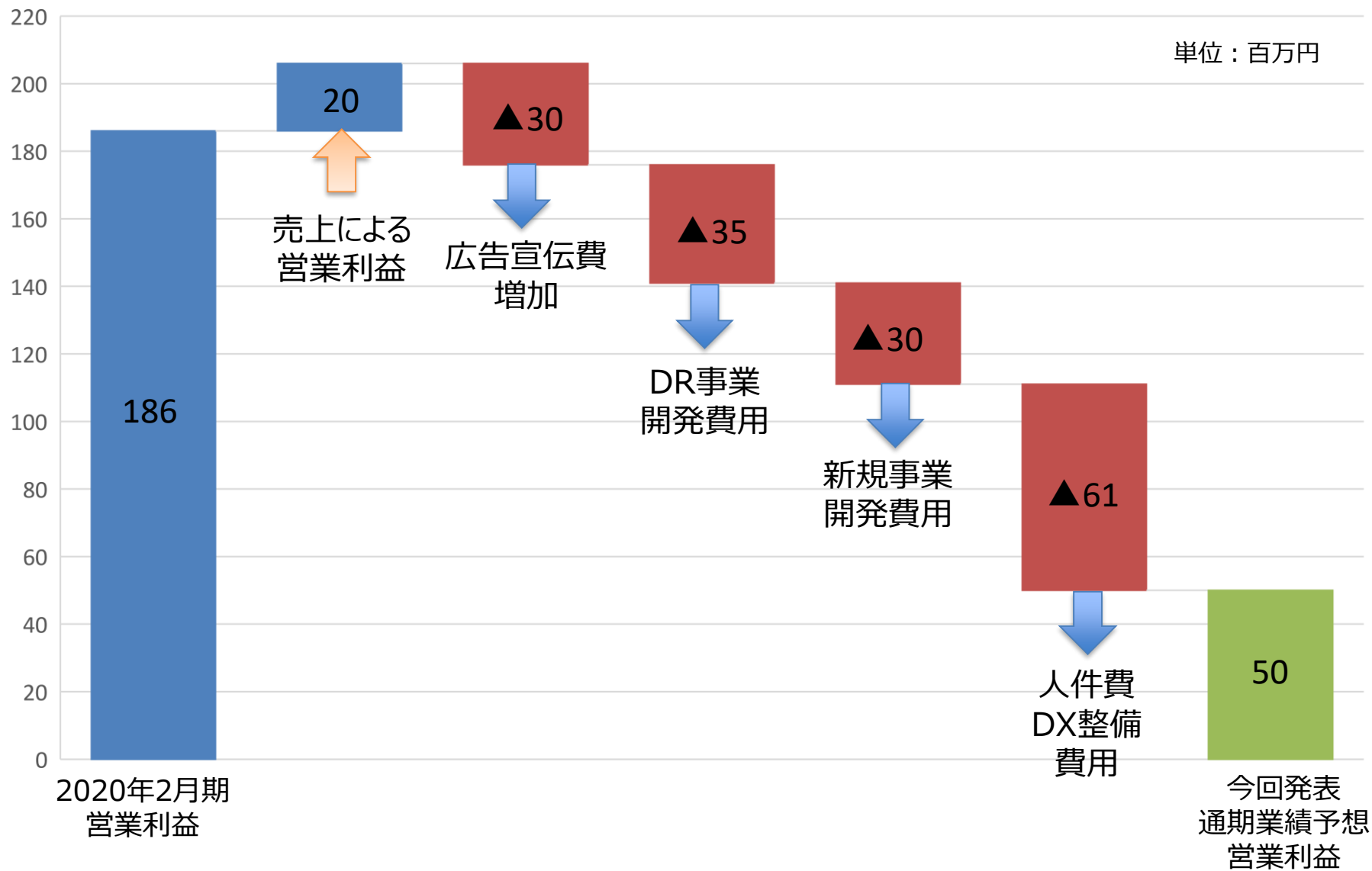
単位：百万円

	第2四半期(累計)		
	2020年2月期 連結実績	2021年2月期 連結予想	前年比
売上高	942	950	1%
営業利益	140	30	▲79%
経常利益	131	30	▲77%
当期純利益	86	18	▲79%

	通期		
	2020年2月期 連結実績	2021年2月期 連結予想	前年比
売上高	1,963	2,100	7%
営業利益	186	50	▲73%
経常利益	174	50	▲71%
当期純利益	86	30	▲65%

- ◆ コロナウイルス感染症が社会に与える影響が不透明な環境が続くと見込まれるが、新たなリスクマネジメント需要の取込みや地方市場を含めた顧客層拡大に努め、シェア拡大による収益機会の確保を図る。
- ◆ 来期以降の成長を見据え、ビッグデータ解析やインターネット関連の技術投資、パートナー企業との連携を強化させる。
- ◆ 人材の強化やデジタルトランスフォーメーションを推進する。

グループ 全体	人材強化/ 労働環境の 向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の成長を担うコア人材の採用 ・ 研修等社内教育の強化 ・ テレワークやデジタルトランスフォーメーションの推進
	M&A	<ul style="list-style-type: none"> ・ M & Aを推進し、 規模拡大及びシナジー効果の創出を狙う。
デジタル リスク事業	ソーシャル リスク・ 内部脅威	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告宣伝活動によるさらなる認知度の向上 ・ モニタリング業務のA I 化による効率化・コスト削減 ・ 新プラットフォーム構築によるサービス改善 ・ 市場規模拡大のための新サービス開発
	A I セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警備業務の効率化アプリ【A I K】を用いた警備事業の早期ビジネス化 ・ セキュリティインテリジェンスに関する新サービスの構築
その他 事業	新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たなリスクに対するビジネスの企画・開発 ・ 業務提携先との新事業開発



単位：百万円

		2020年2月期 連結実績	2021年2月期 連結予想	増減
デジタルリスク事業	売上高	1,866	2,000	134
	営業利益	650	685	35
その他	売上高	102	106	4
	営業利益	▲44	▲90	▲46
全社	売上高	▲4	▲6	▲2
	営業利益	▲418	▲545	▲127
連結	売上高	1,963	2,100	137
	営業利益	186	50	▲136

1. 2020年2月期 第2四半期決算概要
2. 2020年2月期 通期業績予想
- 3. エルテスについて**



デジタルリスクと戦い続ける

私たちが目指すのは、健全にテクノロジーが発展する豊かなデジタル社会を守り、デジタル社会にとってなくてはならない存在になることです。

インターネットの普及、デジタルデバイスの進化により利便性の向上と引き換えに様々なデジタルリスクが生まれています。

お客様や社会がまだ気づいていない、次々と現れるデジタルリスクと戦い続けていくことが、エルテスの価値であり役割です。

新種のリスクを常にキャッチアップして先手を打っていく、デジタルリスク領域でイノベーションを起こし続けていきます。

創業	2004年4月
所在地	東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング 6階
代表者	代表取締役 菅原 貴弘
ミッション	新たなデジタルリスクに立ち向かい、デジタルリスクを解決すること
事業内容	リスク検知に特化したビッグデータ解析ソリューション
サービス	<ul style="list-style-type: none">・ ソーシャルリスク関連サービス・ 内部脅威検知サービス 等
従業員数	105名（2020年2月時点）
子会社	(株)エルテスセキュリティインテリジェンス、(株)エルテスキャピタル、 (株)エフイーアイ

- ◆ 当社は、テクノロジーの進展によって発生する新たなデジタルリスクを解決するためのソリューションを開発し提供します。
- ◆ 情報通信インフラ技術とデジタルデバイスの発展に伴い普及した検索エンジン、SNS、オンラインバンキングなど、社会のデジタルトランスフォーメーションの過程において発生する“デジタルリスクマネジメント”を支援します。

デジタルリスクマネジメント

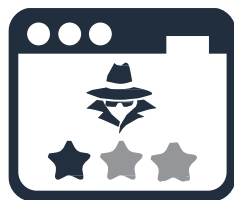
ソーシャルリスクマネジメント

インターナルリスクマネジメント



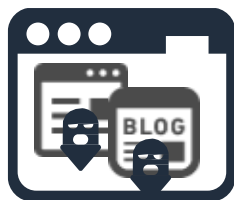
リスクモニタリング

24時間365日体制でクライアントの情報を収集しモニタリングすることでリスクの芽を早期検知します。また、検知だけでなく、これまでの専門会社としてのノウハウを基にした対応方法もアドバイスします。



レピュテーションマネジメント

検索エンジン上での一般ユーザーとのタッチポイントは企業のブランド体験に大きな影響を与えます。企業のブランディングやレピュテーション向上のためのコンサルティングサービスを提供します。



不正サイト検知

デジタル広告の仕組みを用い、不正に利益を得ているWebサイトは企業のブランド価値を大きく棄損するリスクがあります。それらのWebサイトを検出し、証拠保全を行うサービスを提供しています。



テロ対策支援

SNS上の情報収集を通じて凶悪犯罪につながる情報収集や、実際の犯罪予告等を早期に検知する取り組みを支援しています。



内部脅威検知

企業のPCログをはじめとした様々なログデータを収集し、正規化した上で統合解析することで情報漏洩や労務リスクの予兆を捉えます。



金融犯罪対策

口座間の送金ログやオンラインバンキングやATMのログイン情報などのビッグデータを解析することで、AMLをはじめとした金融犯罪対策を実現するために関係性可視化ツールを提供しています。

※ OSINT 【open-source Intelligence】の略語

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。